

地域の皆さまにより一層信頼される発電所を目指します

保安活動総合評価の実施結果の公表について

原子力安全・保安院より、全国の各原子力発電所に対する平成21年度の「保安活動総合評価」の結果が公表されましたので、お知らせいたします。

この評価制度では、国の検査・審査の指摘事項や発生したトラブル事象等について、原子力安全にどの程度の影響があるかを客観的に評価する安全重要度(SDP)評価と、発電所の安全性に係る運転状況などを評価する安全実績指標(PI)評価の二つの評価を組み合わせ、発電所の保安活動を総合的に評価するものです。

この評価から改善すべき課題を抽出し、国における次年度の検査計画立案に活用する仕組みで、今年度より3年間の試行的運用を行い評価方法の改善等を図ることとしています。

東通原子力発電所の評価結果について

安全実績指標(PI)評価については問題となる点はありませんでした。安全重要度(SDP)評価については、保安検査の指摘事項などはありませんでしたが、昨年7月に発生した「補助ボイラー定期事業者検査時期変更承認申請未実施※1」による原子力安全・保安院指導文書を受領したことが評価の対象となりました。

このため総合評価においては「重要な課題が見いだされた」として5段階の評価区分の下から2番目の評価となりました。

「補助ボイラー申請未実施」については、事象発生後、速やかに根本原因分析を行うとともに計画的に再発防止対策を実施し、確実に改善を図っています。

※1 原子力発電所の補助ボイラーについては、一定期間ごとの定期事業者検査が義務づけられています。平成21年1月1日に電気事業法施行規則に基づく内規が変更となり、従来の13ヶ月から25ヶ月を越えない時期までに検査を行えば良いことになりましたが、本内規が適用される条件を誤って認識してしまい、申請手続きを行なわなかったものです。

安心をお届けできるよう安全・安定運転に努めてまいります。

日本代表選手からボレーやスマッシュなどの技術を学ぶ ～「東通 ソフトテニス教室」開催～

東通原子力発電所は、6月5日(土)、東通中学校テニスコートにおいて、東通小・中学校のソフトテニス部員50名を対象に「東通 ソフトテニス教室」を開催しました。

今回は、日本代表選手として活躍されている平田清乃さん、上原絵里さん、中川静香さん、阿部悠梨さんの4名を講師にお招きし、ソフトテニスの基本技術や練習および試合中の心構えなどを指導いただきました。



晴天の下、熱心に練習する子どもたち

子どもたちは、アドバイスを受けながら自分のフォームを見直したり、一流選手の技術を少しでも身に付けようと熱心に取り組んでいました。最後に講師による模範試合も行われ、トップレベルの試合を見た子どもたちからは、歓声と驚きの声があがりました。

閉会にあたって、講師の平田さんから「勝ちたいという気持ちをもっと出して、元気よくこれからも頑張ってください」と激励のメッセージが子どもたちへ送られました。

これに対し、東通小学校キャプテン 森山佑夏さんは「自分が苦手だった部分を分かりやすく説明してもらい、上達できたと思う」、東通中学校キャプテン 田中美沙都さんは「模範試合を見て、私も上手になりたいと思った。たくさんの技術を身に付け、今後の練習や試合に役立てていきたい」と、今後の目標や指導いただいた感謝の気持ちを伝えました。



ボールをよく見て打ち返そう



鋭いスマッシュの打ち方を伝授



講師と一緒に記念撮影(左:東通小学校の皆さん 右:東通中学校の皆さん)